

令和6年11月29日  
東京厚生信用組合

## 第15回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第15回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第16回会議は、令和7年2～3月頃に開催する予定です。

### — 記 —

1. 日 時 令和6年9月20日（金） 13:00～14:30

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

（経営諮問委員）（五十音順、敬称略）

西岡 修 （社会福祉法人 白十字会 理事長）

鈴木 豊 （公認会計士・税理士）

渡辺 由佳 （東京都商工会連合会 専務理事）

（東京厚生信用組合）

土井 真一郎（理事長）

小野寺 栄治（常務理事）

中嶋 勉（常勤理事）

癸生川 徹（常勤理事）

辻田 浩之（常勤理事）

森尾 みゆき（常勤監事）

4. 当組合からの説明内容

辻田理事から、以下の議題について、資料に基づき説明した。

①第四次経営強化計画の履行状況について

②関東財務局による金融検査結果に対する改善状況報告

③第五次経営強化計画の策定について

④その他（意見交換）

5. 会議における主な意見等

出席委員の皆様から、以下のようなご意見・ご提言をいただきました。

- 業域向け融資新商品の広告活動について、福祉の領域では社会福祉法人 東京都社会福祉協議会があり、各部会が定期開催しており、以前は厚生信用の職員が説明のために参加していた。
- 福祉施設では、LED の照明関連等の更新時期がきており、エアコンの故障に伴う取り換え等の設備資金需要がある。
- 人材の確保・育成関連についてであるが、転職者には、前職加算を行っている。その際、職歴を限定的にみると、最初の給与設定が低くなってしまふ。例えば、加算の考え方を見直すことで、定着の可能性が高まるのではないか。
- 大手行ほどの初任給のアップはできないとしても、例えば「〇〇手当」のような基本給に関わらない部分で、若手職員に対し期間限定で加算支給を行うことなどにより、他社の初任給と遜色ない見せ方ができるのではないか。
- 人員の関係で難しいのは理解しており、外部人材等活用しているが、やはり、自分でやらなくてはだめである。人を紹介するためではおそらくうまくいかないと思う。大変だとは思ふが、人材を育てていかなければいけない。
- 厚生職員に対し、リース等の金融サービス利用が効率的に使えているのか、財務面含めて相談できるといい。職員の専門性が高いとやり取りのなかで別の可能性も見えてくる。

6. 土井理事長からの回答

本日は、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。今後の業務活動に活かしていきたいと思ひます。

以上